

上品で洗練、
時を超えて愛され続けている**ヴィンテージベアたち**

Aukution house Seidel / 田中秀弥

テディベアが誕生して100年が経ち、今や初期に製作された貴重なテディベアはアンティークテディベアとして世界中の博物館に飾られる存在です。テディベアは本来、お家で抱っこして可愛がる存在なのに今も変わりません。現代のテディベアも魅力的ですが、ヴィンテージベアもまた経年変化による愛くるしい姿が魅力的です。

1950年代旧東ドイツのゾンネベルグという玩具産業で栄えた小さな街を中心に、数多くの工房でテディベアが製作されました。当時は上質な天然の素材をふんだんに使用していたため、70年近く経った今でも大切にされたテディベア達は現存し、素材の経年変化も合間合間で輝き続けています。

そんなドイツのテディベアを中心に、アンティーク玩具専門のオークションハウスにてアンティーク玩具について修行を積んだ店主がセレクトした珍しいテディベアの数々をご紹介します。



是非、気になった子がいれば、どこで製作された子なのか尋ねてみてくださいね。

♡初来日♡

**【シュタイフ社製 アンティーク テディベア】
1920年 / 60cm / 耳タグ
¥3,500,000- (税別)**



1910年後半はアメリカでのテディベアブーム、そして欧州ではサーカスという新しい娯楽のおかげでクマのぬいぐるみ「テディベア」は人気を呼び、シュタイフは大企業に成長していきました。1900年初期のシュタイフ社製テディベアから試行錯誤を重ね、今日の洗練されたテディベアのフォルムが生み出されたのはこの頃です。テディベアの生みの親であるリチャード・シュタイフは数々の新しいデザインのテディベアを生み出しヒットさせてきましたが、今回初来日するこのブラウンモヘアの子はまさに手足が長く鼻の長いクラシカルテディベアの原型です。約100年前に製作されたこのブラウンモヘアの子。テディベアのオークション界では非常に価格が高騰しています。当時60cmのテディベアは数多く生産されていましたが、現存する体数は非常に少ないと言われていました。戦争の動乱の中、60cmの子は大きく箱に入れて保存することも難しく、現存していても傷みの激しい子が多いです。またブラウン色は黒人差別時代の名残から当時はあまり人気がなくライトブラウンよりも生産数が少なかったと言われていました。今回来日する子は、シュタイフのトレードマークかつアンティークシュタイフを鑑定する上で欠かせない耳のタグもそのままに、モヘアの状態も新品同様に良好で手足パッドも美しいです。表情も愛らしくアンティークのテディベアの中でもかなり希少な子です。今回はドイツから松屋銀座さんのために来日いたします。是非、貴重なミュージアムピースのこの子をご近所でご覧ください。

**B.R.M.Luxury Animal
by YUMIKO GOTO (ゴトウユミコ)**



※写真はイメージです。
※内容や出展作家は変更される場合がございますので予めご了承ください。
※イベントに関する詳細は
(株) ティー・トレード
電話 042-712-2181 まで
お問い合わせください。

ほかにもたくさんのテディベアが大集合!



♡出展作家の実演 & 販売♡

- **【12月20日(木)】**
Soyo (SOYO BEAR @谷中) / 三木 恵 (MARGARET BEAR)
よしだちえこ (CHICO-WORKS) / 米崎樹美 (Jumi Bear)
- **【12月21日(金)】**
Soyo (SOYO BEAR @谷中) / まきたともみ (Teddy B)
- **【12月22日(土)】**
Soyo (SOYO BEAR @谷中) / 佐藤祥子 (くま牧場)
高沢智美 (magic paw)
- **【12月23日(日)】**
佐藤祥子 (くま牧場) / つのひろこ (ぺろる庵)
- **【12月24日(月・祝)】**
おかべきよみ (Angel Bear) / 小町さえり (Saeri Bear)
- **【12月25日(火)】**
まきたともみ (Teddy B) / 小町さえり (Saeri Bear)



**「クリスマスキッズフェスタ」
松屋銀座クリスマスイベントの
お知らせ**

- シュタイフ社・メリーソート社・チャーリーベアーズ社などのメーカーベアをはじめ、人気国内作家のオリジナルテディベアの実演販売やアンティークベアまで、可愛いテディベアが大集合!
- また、1900年初頭から第二次世界大戦後までにドイツで作られた貴重なアンティーク玩具やヴィンテージテディベアも並びます。
- ぜひ、クリスマスシーズンのプレゼント選びや素敵な思い出として、大好きなベアをお家へお連れしてください。
- **●場所** 松屋銀座8階 イベントスクエア「クリスマスキッズフェスタ」
- **●日程** 12月20日(木)～25日(火) 10:00～20:00
- ※21日(金)・22日(土)・23日(日)は～20:30、最終日は17:00まで
- **●出展** (株) ティー・トレード
- (株) かなる、Aukution house Seidel (オークション・ハウス・サイデル)
- ゴトウユミコ (コーナー展示)
- 加藤日砂 (コーナー展示・似ベア絵予定)
- 国内作家実演 (テディベア協会アーティスト)
- **●展示販売予定**
- シュタイフ社、クレメンズ社、チャーリーベアーズ社、メリーソート社、国内作家作品、その他ベア多数

♡加藤日砂企画展参加アーティストのプロフィール♡

- **i-ppo たおか** (21日 来場・実演あり)
大学卒業後、国家公務員として勤務。絵画、造形物を制作し続け数々の作品展に出展。退職後「i-ppo たおか」の名称で本格的に作家活動を開始。テディベアを中心としたぬいぐるみから、陶器、粘土、和紙、キャンドルなど、マルチな素材で、動物と女の子を作り続けている。
- **pretty beast 彩里知矢** (24日 来場・実演あり)
テディベア、スイーツデコ、オルゴナイト作家。アンシェントメモリーオイルブレンド。スノードーム協会認定講師。レイキサード修了。元webディレクター。出展、講師等の経歴あり。pretty beastは「いつまでもちゃんと夢をみたい女子」のためのブランドを目指しています。合い言葉は「We choose to be Happy!」全ての少女が少女でいられるように…。
- **加藤日砂・保科直人**
(20日、25日 来場・実演「似ベア絵」と「デッサンクッション」の実演あり)
加藤日砂 (Hisa Kato) 造形作家
1972年10月27日 テディベアの日生まれ 東京都在住 美術大学在学中よりテディベア作家として注目を集め独自の世界観を構築し、絵画、立体作品、書き物、造形教室講師、雑誌、TVその他多岐にわたり国内外で活躍。今回のようなアートディレクターのお仕事は約20年前から多くある。2019年3月も大きな企画とADを控えている。※インスタは私見る専門です。夫の保科直人へ、hoka0723 www.facebook.com/hisa.kato.52
保科直人 / Naoto Hoshina 加藤日砂の夫でマネージャー。ふたりで一緒に企画・立案。
- **えっちゅうえみ** (来場予定)
1996年からテディベア制作を開始。国内外のコンテスト受賞歴多数。現在は日本国内と台湾のベアショー、企画展などを中心に活動中。テディベアは「Sharon&Bear」、アニマルは「Emimal」のブランド名で作品を展開。(EmimalはEmiが作るanimal=Emimalの造語)
- **HARU BEAR マツノハルミ** (23日、終日 来場のみ)
テディベア制作の技法でベアやアニマルを制作。2009年よりオリジナルテディベアブランド「HARU factory」として活動を開始。2016年2月、ブランド名を「HARU BEAR」へ変更。2012年第20回テディベアコンテスト (JBTA) 新人賞・2013年第21回テディベアコンテスト (JTBA) カテゴリーA銅賞受賞。
- **坂井 礼 Aya Sakai**
1997年より Cantik Bear (チャンティツ ベア) の名前でテディベアをはじめ、いろいろな動物をオリジナルの型紙で製作。ピーターラビットの世界感と古い物が好き。ちょっと古さを感じる作品に仕上げたりする事もあり、いつまでもかわいがって貰える作品を目標に制作。cantikbearblog.blog104.fc2.com
- **手芸家こひろ** (来場なし)
kogin * bear style/ コギンベアスタイル
青森県津軽地方に伝わる刺繍「こぎん刺し」を取り入れたテディベア、小物などのベアグッズを製作。https://koginbearstyle516.jimdofree.com/
- **松浦愛子** (来場予定)
テディベアを作ろうと思っただけは家族のテディベア収集家のおかげでメィフェアさんを知り色んな作家さんの作品を見る。素直に「作ってみたい。」と思っただけで取りかかった。後に正式に作家として愛子ベアをメィフェアさんに置かせていただく運びとなる。今回の企画テーマは、染め布がどんな感じなのかまだ解らないけど誰かに寄り添える怪しくて優しいベアをイメージして作りたい。もっと私のベアを多くの人に知ってもらいたい、絵本も描きたい、誰かを幸せに、なんて思う前に、やはり自分の為に自分のベアで幸せを呼びたい。



**「赤、緋、朱、紅いろいろせかい展」
～加藤日砂プロデュース企画展**

赤系統で、加藤日砂による「絞り染め、ムラ染め」の生地(モヘア、ビスコース、短毛、長毛問わず)をランダムに一枚お渡しいたします。各作家さまにその生地で作品を1～2点制作をお願いし、みんなで力作作品たちを展示し世界観を創ります。(作家さんにより異なりますが、おひとりあたり総計約5～6作品。予定。)

赤系統・創られた作品+ふだんの作家さんの力作の作品を加藤日砂が展示演出。



● **コンセプト** 繁盛期の有名百貨店を、『ちょびっただけでも、皆でうごかして感動にしたい!』ありきたりのテディベアイベントでちょい違う視点をもちより、『皆でお客さんと一緒に楽しもう!』、そんな発想が原点にあります。



↑(右)「似ベア絵」の描いている様子。絵を描くパフォーマンズ。
↑(左)「鈴にゃん」クッション! (サンプル)
↓「くま弁」キットの少量限定販売。そのモデル作品は、展示終了後にお渡しの予約制。

